
探し物・・・

東風こち

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

探し物・・・

【Nコード】

N0199F

【作者名】

東風こち

【あらすじ】

私は何かを探しながら歩いていた。それが何だったか思い出せな
いまま・・・。

私は、あてもなく歩いている。それは、あるものを探して
なのだが、それが何だったか忘れてしまっていた。

なんだったのだろう・・・、思い出せないものは仕方が無い。
きつとそれほど重要なものじゃないんだろうな。

そんなことをあれこれと考えながら歩いていると、普段歩い
たことの無い路地に入っていた。

住宅街、周りには家、家、家・・・、しかし落ち着かないく
らいに静かだ。犬や猫を飼っている家も無いのか。

そのまま、無心に暫く歩く。すると、かなり前方に歩いてい
る人が見えた。とりあえず追いつこうと早足になる。

前方を歩いていた人は、急に左の路地に向きを変えて入って
いった。私も急いで後を追うが、角を曲がったとき・・・。

・・・気がつくと、私はあてもなく歩いていた。あるものを
探していたはずなのだが、それが何だったか思い出せない。

ここは・・・、住宅街か。周りは家だらけだ。しかし、落ち
着かないくらい静かだな。人は住んでいるのか？

とりあえず周りを見回しながら歩く。ここはどこだろう？
この辺は人影もない。だが、どこか見覚えのある景色だ。

そう思いながら歩いていると、かなり前方に歩いている人が見えた。とりあえず追いつこうと早足になる。

しかし、もう少しで追いつくと思ったその人影は、急に左の路地に入ってしまった。私も左の路地に入る。

そこにいたのは、あの前方を歩いていた人・・・だろうか？今は目の前にこちらに向かって立っていた。

「どうした？私に用があるんじゃないのかな？」

その男は、何もかも知っているぞという風に私に話しかけてきた。

「・・・・・・・・」

私がどう言おうかと迷っていると、

「ふ、まあいいさ。何も言いたくないなら、そうしなさい。

だが、それでは『探し物』は見つからないぞ！」

「な・・・」

「じゃあ、私はそろそろ行くからな」

私が何か言おうとする前に、男はその場を立ち去ろうとした。 ” 待ってくれ！ ”、私はそう言おうとして、目の前が真っ暗になった。気を失う寸前、私の後ろにも人がいたことに気がついた。しかも、そいつは手に血の滴るこん棒を持っていた・・・。

私は、あてもなく歩いている。それは、あるものを探してなのだが、それが何だったか忘れてしまっていた。何だか後頭部がズキズキする・・・。

—
完
—

（後書き）

結構短編にするとすらすらと書けるのですが、
それが作品としてどうなのか分かりません（＾－＾・・・）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0199f/>

探し物・・・

2010年10月17日10時03分発行